

千葉県サッカー協会シニア委員会の歴史

2001年よりシニア委員会事業開始今年、20年目になりました。

県シニアリーグ開始当初40代、7チームで開始した。

千葉四十雀SC、四十雀クラブ東京、Tドリーム、緑町シニア、葛城ク、浦安シニア、古河市原シニア

千葉県シニア委員会発足前、シニア連盟として三井リーグを三井造船SCの基、開催していた。千葉県協会会長でもあった、穂高氏(習志野高、法政大学、三井造船(三造興産社長))の下、開催されていた。当初は三井造船市原ふ頭内、サッカー場で開催。その後、辰巳台グラウンド使用。

千葉県シニア連盟の前身は、1970年関東四十雀シニアの大会とし、9月15日敬老の日に開催。第1回大会が、四十雀クラブ東京により、東大御殿下グラウンドで開催されたのが日本のシニアサッカーの始まりと云われております。東京、山梨、茨城県チームで開始され、千葉県は1972年から参加し始めた。当初の活動者には、鍋島先生始め、浅野先生等、歴代の大先輩です。年1回(9月15日敬老の日)、四十雀大会とし開催されておりました。四十雀クラブ東京には、日本サッカー協会の長沼会長(メキシコオリンピック3位監督)、岡野氏(同コーチ)等、歴代の代表者が所属しておりました。

1997年よりJFAシニア種登録必須によりシニア種として登録開始し、シニア連盟から、シニア種に準備始める。当初、県協会副会長鍋島先生の発起により、浅野先生、林學先生、高橋雄治、鹿島、黒木、秋田先生、高西、村野、井上、等で話し合いがなされた。

連盟を解散し、シニア種とし千葉県サッカー協会に2004年属し現在のシニア委員会になる。初代委員長、高橋雄治氏(日本リーグ古河所属)、副委員長堀井氏(日立本社)、2代目委員長 手塚千俊氏 現在3代目の、井上です。シニア委員会発足から、事務局長で準備、運営してきました。この様な経緯で現在に至っております。

簡単ですが、このような状況で現在のシニア委員会が運営されております。今迄、歴史等話をしたことは有りませんが、今回簡単に記しておきます。

元々、千葉四十雀SCの歴史が、千葉サッカーの前身のようですが、現在のような参加チーム・メンバーになったことを感謝しております。後程、千葉四十雀SCの歴史を紹介いたします。一部が千葉県のシニアサッカーの歴史とリンクしております。